

沖縄法政研究所 第62回 研究会

憲法パトリオティズムと沖縄

政治哲学の視点から

報告者 田畑真一 早稲田大学助教

憲法学の視点から

報告者 齋藤一久 東京学芸大学准教授

司会 安原陽平 沖縄法政研究所所員
沖縄国際大学総合文化学部講師

【日時】

2017年7月28日(金)
15:00~17:00

【場所】

沖縄国際大学 13号館 1階会議室

事前申込み不要/参加無料

【報告概要】

憲法パトリオティズムとは、普遍的な価値を有する憲法への積極的なコミットメントを意味する。この概念から日本を見るに、憲法をめぐる議論は憲法パトリオティズムとは反対の方向に進んでいるように思える。すなわち、歴史的に獲得されてきた憲法の理念、具体的には立憲主義、平和主義、人権尊重などが軽んじられ、現憲法の理念とは相反するような内容を持つ憲法への改正が目指されるなどしている。

他方、沖縄に目を向けると、積極的なコミットメントの対象である日本国憲法は、常に遠くにある。いわゆる安保条約と日本国憲法の二つの法秩序の併存による憲法の相対化のそれである。

反憲法的とも言うべき日本全体の政治状況と憲法の空転とも言うべき沖縄固有の状況について、憲法パトリオティズムという概念から考察をおこない、今後の議論のための視点を獲得することを本報告の目的とする。

■問い合わせ 沖縄国際大学 沖縄法政研究所

電話 098-893-7967 または 098-892-1111 (内線 6110)

〒901-2701 宜野湾市宜野湾 2-6-1